若松新聞
発行所
福岡県若松市小石
若松高等学校
新聞部
発行人　大屋啓吾
編集人　安田正宏
印刷所　西日本新聞社

五月の行事

△十日（木）選定
△十六日（金）知能検査
△十九日（土）進適模擬
△二十三日（水）実力テスト開始

六月の行事

△十三日（金）第二回学力模試
△二十一日（土）第二回進適模試
△二十二日（日）音楽合唱祭
△二十八日（土）大掃除

独立に寄せるメッセージ

講和発効と学生の心構え

校長　森本鉄之助

国民待望の平和安保両条約がいよいよ四月二十八日をもつて発効してここに日本は完全な独立国家に復帰しました。私は諸君と共に衷心からこの日を慶祝いたします。さて占領行政下において命令によつて動き、援助によつて立つことさえ容易なわざではありませんがまして独立して自力によつて進むことは困難なことであります。今や条約発効によつて国民は重大なる責任を負うことになつたのでその完遂は我等の堅き決意と非常なる努力を必要とするものであります。凡そ国家の独立自治は国民各自の自主自律の精神によつて造り上げねばならないと考えます。即ち国民一人一人の心構えと行動によつて我国将来の運命を決定するものと信じます学園自由主義に陥つてはいけなかつたかを厳密に反省して見る必要があると思います。而してこれを是正し補足するように努めなければなりません。また同時に我国従来の在り方についても再検討の上その長所美点は大いにこれを保存し発展さすべきであります。更に終戦前後における苦しい耐乏生活や忍苦勤勉の緊張した生活は独立後においても一層必要であることを自覚しなければなりません。今や条約発効によつて国民は重大なる責任を負うことになつたのでその完遂は我等の堅き決意と非常なる努力を必要とするものであります。凡そ国家の独立自治は国民各自の自主自律の精神によつて造り上げねばならないと考えます。即ち国民一人一人の心構えと行動によつて我国将来の運命を決定するものと信じます学園自由主義に陥つてはいけなかつたかを厳密に反省して見る必要があると思います。而してこれを是正し補足するように努めなければなりません。また同時に我国従来の在り方についても再検討の上その長所美点は大いにこれを保存し発展さすべきであります。更に終戦前後における苦しい耐乏生活や忍苦勤勉の緊張した生活は独立後においても一層必要であることを自覚しなければなりません。今や条約発効によつて国民は重大なる責任を負うことになつたのでその完遂は我等の堅き決意と非常なる努力を必要とするものであります。凡そ国家の独立自治は国民各自の自主自律の精神によつて造り上げねばならないと考えます。即ち国民一人一人の心構えと行動によつて我国将来の運命

等においてもまた同様であつてこれがまた民主国家社会の在り方ではないでしようか。この時を是正し補足するように努めなければなりません。また同時に我国従来の在り方についても再検討の上その長所美点は大いにこれを保存し発展さすべきであります。更に終戦前後における苦しい耐乏生活や忍苦勤勉の緊張した生活は独立後においても一層必要であることを自覚しなければなりません。今や条約発効によつて国民は重大なる責任を負うことになつたのでその完遂は我等の堅き決意と非常なる努力を必要とするものであります。凡そ国家の独立自治は国民各自の自主自律の精神によつて造り上げねばならないと考えます。即ち国民一人一人の心構えと行動によつて我国将来の運命

がある。すなわち、今年度の学校側の方針として、その主力を三年生に置き、進学就職の専門的指導を行うためにそれぞれの委員会が設けられ、その分野においていろいろな計画がなされている。いずれにしても全学年を通し、学力を向上せしめることが先決問題であり最大の努力であるために、課外授業が正課の時間に取り入れられたがつて先生方の負担も相当重くなつたわけである。要するに学校側としては、自発的な生徒の意欲を期待しており『学力の向上が第一だ』ということが先生方の共通した意見なのである。次に各専門部の先生の意見を聞いてみた。

総務部　瓜生先生談

今度の学級編成については、学校側の方針に基いて男女共学を建前として各生徒の将来について専門的に指導を行うために、男生徒を全て進学と見なし女生徒は進学希望者のみを男子組に編入することにしたのである。進学者には学力を向上せしめるためにも、また女生徒には家庭婦人としての素養を身につけるためにも適切な方法だと思う。やはり学力をつけることが第一であつて、時間割につい

生徒委員会の内面

規約違反で活気づく

強い三年委員の発言

四月十二日の放課後本年度初の全校生徒委員会が新一年を混えて南校の裁縫室で開かれクラブの新設、廃止について討議を重ね、最後に二年七組の藤井君から『生徒会規約では各組より総務二名が出席することになつているが今年は学校の方針が総務は一名に定り、今日の会議にも一名しか出席していないがこれは生徒会の規約違反ではないだろうか』という意見が提案され、まずこのことをホームルームに流すかどうかについて議論し二年生の強い反対をおさえて流さないことに決定してその日は解散。

二日後、舘田・森元・川上三教官出席のもとに再開し、長時間にわたつて激論した結果、今後絶対に規約を守ること、生徒会の決定事項を最大限に尊重すること、更に職員会で決定した事項を委員会を開いて説明すること、の三条件のもとに規約の改正を審議することに決定した。

次に総務選挙前に規約改正の手続きを取らなかつた理由を生徒部長の舘田教官は次の如く語つている。

三年生の修学旅行帰校後、早く軌条に乗つた勉強を始めてもらおうと思つて総務の総選挙を急いだこと、また私も生徒会の仕事を受け継いだばかりで生徒会の様子は規約も未知であつたためにこんな結果になつたので決して生徒会の規約を軽視しているわけではない。

本年総務が一名になつたことについてはだれも何ともいつて来ないところをみると異議がないのだから、生徒委員会で規約の改正をしてもらつたわけである旨も心よく承諾してほしい。

論説

生徒会の活動

戦後、各種自治会の発達と併行して学園の自治活動も発展の途を辿つて来た。高校自治会も七年を経過した今日、その基礎かようやく定まる一方、その動きにも行詰りを見せているのは事実である。自治会の目的を何に置くかによつてその活動部面も決定するわけであるが、生徒の活動範囲に大きな問題があるのではないか。生徒自身の学園を設立する所に主眼点を置くべきであるが、生徒自身の学校というのは生徒のわがままが通る学園を意味するのでは決してない学生の本分は勉学にあることはいうまでもないが、われわれの知識欲を十分満足してくれる学園になるよう努力するのも自治会の大きな任務である。このような校内における重大な仕事を円滑に続けて行くことについては非常に大きな力が必要である、ここにおいてわれわれの団結した協力の態度が要求されるわけである。このようにして形成される生徒会は学校の運営の主要機関にることを認めねばならない。もちろん学生の本分を怠たらずしてこの活動を続けて行くことは容易なことではないが、ここにこの会の大きな特色を見出すのである。学生生活は将来のより良き社会人を育成するいわば踏台の如き重要な意義を持つのであるから生徒会活動になれ親しむということは『すぐ使える社会人』を育てるために欠くべからざる存在なのである。教育者も以上のような点を十分考慮して会の活動に参加すべきであることを改めて強調したい。修養途上のわれわれはわれわれ相応の力で学校運営に当ることが最も望ましいと考える。学園の民主化が叫ばれても、依然として官僚的階級思想がはびこりその会が単なる伝達機関に過ぎない有名無実な存在にあるのが事実ではあるまいか。大きな視野を持つた理解ある教育者の態度が特に要望される所以である。生徒会はその活動範囲を明瞭にし、その活動がわれわれによる学園を建設して行くための内容を包含していなければそこには何の意義も発展も認められない。われわれの学校を建設するのは生徒自身であることをよく自覚しなければならないと同時に先生達も生徒会の活動を認め、生徒と協力して学校運営の最大機関にらしめるよう努力して行くことが学校の民主化が急速に進展する鍵であることと確信する。

〝学力向上が第一〟

生徒の学習指導の改革

男女共学が、学園に登場して以来、各方面において健全なる教育の確立のために極々の改革が行われてきた。本校においても今年度は学級の編成、時間割、選択課目等に大幅な変革が行われたようである。すなわち、今年度の学校側の方針として、その主力を三年生に置き、進学就職の専門的指導を行うためにそれぞれの委員会が設けられ、その分野においていろいろな計画がなされている。いずれにしても全学年を通し、学力を向上せしめることが先決問題であり最大の努力であるために、課外授業が正課の時間に取り入れられたがつて先生方の負担も相当重くなつたわけである。要するに学校側としては、自発的な生徒の意欲を期待しており『学力の向上が第一だ』ということが先生方の共通した意見なのである。次に各専門部の先生の意見を聞いてみた。

総務部　瓜生先生談

今度の学級編成については、学校側の方針に基いて男女共学を建前として各生徒の将来について専門的に指導を行うために、男生徒を全て進学と見なし女生徒は進学希望者のみを男子組に編入することにしたのである。進学者には学力を向上せしめるためにも、また女生徒には家庭婦人としての素養を身につけるためにも適切な方法だと思う。やはり学力をつけることが第一であつて、時間割につい

注目すべき今年の予算会

生徒会決定額中間報告

昭和二十七年度生徒会予算は例年の通り専門部委員会、職員会を経て決定され、今年は昨年より生徒会費の総額が減つたにもかかわらず運動部では三つの部が新設されて居り会議は当初から混乱を予想された。

専門部委員会は去る四月下旬南校

おうと思つて総務の総選挙を急いだこと、また私も生徒会の仕事を受け継いだばかりで生徒会の様子は規約も未知であつたためにこんな結果になつたので決して生徒会の規約を軽視しているわけではない。

本年総務が一名になつたことについてはだれも何ともいつて来ないところをみると異議がないのだから、生徒委員会で規約の改正をしてもらつたわけである旨も心よく承諾してほしい。

〝学力向上が第一〟

生徒の学習指導の改革

男女共学が、学園に登場して以来、各方面において健全なる教育の確立のために極々の改革が行われてきた。本校においても今年度は学級の編成、時間割、選択課目等に大幅な変革が行われたようである。すなわち、今年度の学校側の方針として、その主力を三年生に置き、進学就職の専門的指導を行うためにそれぞれの委員会が設けられ、その分野においていろいろな計画がなされている。いずれにしても全学年を通し、学力を向上せしめることが先決問題であり最大の努力であるために、課外授業が正課の時間に取り入れられたがつて先生方の負担も相当重くなつたわけである。要するに学校側としては、自発的な生徒の意欲を期待しており『学力の向上が第一だ』ということが先生方の共通した意見なのである。次に各専門部の先生の意見を聞いてみた。

総務部　瓜生先生談

今度の学級編成については、学校側の方針に基いて男女共学を建前として各生徒の将来について専門的に指導を行うために、男生徒を全て進学と見なし女生徒は進学希望者のみを男子組に編入することにしたのである。進学者には学力を向上せしめるためにも、また女生徒には家庭婦人としての素養を身につけるためにも適切な方法だと思う。やはり学力をつけることが第一であつて、時間割につい

注目すべき今年の予算会

生徒会決定額中間報告

昭和二十七年度生徒会予算は例年の通り専門部委員会、職員会を経て決定され、今年は昨年より生徒会費の総額が減つたにもかかわらず運動部では三つの部が新設されて居り会議は当初から混乱を予想された。

専門部委員会は去る四月下旬南校

剣道部復活

女子の要望でダンス部も

最近武道熱の声が高まつてきた今日、文部省の武道復活許可により剣道部、弓道部が発足するようになつた。なお女性徒の希望によりダンス部も設けられた。

☆精神修養に最も適している剣道が今年度第二学期から竹刀競技という名目のもとに発足することになつた。現在部屋はないが沢山の人が入部している。近い将来においてはこの竹刀競技が正科として行なわれるようになるだろうという見込が強くなつている。この剣道復活に際して本校山崎教官は次のように語つた。

竹刀競技は精神統一のために最も適しているスポーツである。本校は昔から武道は相当強かつたので伝統の偉力を発揮して大いにやるつもりでいる。

☆ダンス部においては女性独特の優美さを習得する為に設けられた

昭和二十七年度生徒会予算審査額

	部	計
部部	会	0
部部	務	0
部部	芸	0
部部	理	0
部部	史	0
部部	社	0
部部	学	0
部部	理	0
部部	線	0
部部	物	0
部部	科	0
部部	会	0
部部	算	0
部部	イ	0
部部	済	0
部部	話	0
部部	プ	0
部部	査	0
部部	調	0
部部	書	0
部部	劇	0
部部	画	0
部部	真	0
部部	楽	0
部部	道	0
部部	術	0
部部	関	0
部部	芸	0
部部	論	0
計		0
部部	トス	0
部部	ン	0
部部	球	0
部部	球	0
部部	球	0
部部	泳	0
部部	ビ	0
部部	ー	0
部部	上	0
部部	道	0
部部	岳	0
部部	撲	0
計		0
総	合	0
総	合	0
総	合

市内見學は居眠り乍らよく食べる女生徒

教官　原田清

私が若い頃経験し且つ思っているものと凡そへだたりのある修学旅行が今年もまた、というのは即ちあまりにも準備なく、ただひつぱられて歩き漫然と終了。然しお土産物沢山満足して帰って来るというそれ。勿論全部がそうではないでしょう。然し私は何かしら今年もまた、あきたりないものを強く感じたのでした。原因は色々あるでせうあまり早くから旅行気分を出して学業が浮いては、という老婆心から慈よそれらしい用意にかかったのは三月中旬でしたからね。でも平素あらゆる学科において得た知識が欲する積極的な探究心がもつともつと深く強くこの機会を利用するのが青年ではないでせうか。などと私らしい欲を出して言つてはみるものの、然し今年の旅行は愉快でした。全員よく万般にわたつての指導者の注意を守つてもくれました気候も天気も交通機関も宿も（特に女子班は）皆々きりつめた時間、経費の中においては最も快適でした。そして楽しく無事故で目的を達し得たのは本当にうれしい事でした。きつとこれが皆さんの最も楽しい思い出として残るだけでなく、毎日の学習の上にも色々の形で現われて来る事でしよう。

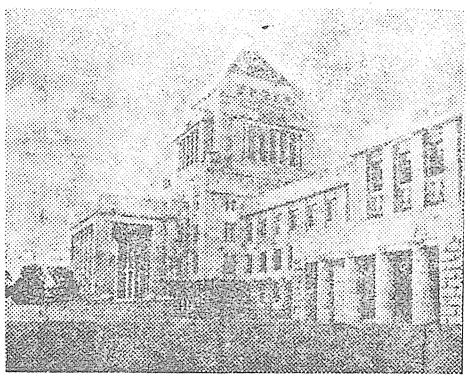
△驚いた事は。夜行また夜行の車中で実によく食べ、よく驚ぐ事。だのに病人一人出ないこと。

△あきれた事は。夜行で疲れ、快いバスにゆられて夢心地、下りた大堰川の夕風が寒かつたとはいえ大半の人が渡月橋を渡らなかつたということ。木々のささやき、川のせせらぎの中に小督の局の琴の音を聞こうなどそんな夢のない人々。

△うれしかつた事は。すべてに高校生らしさを保つて行動して来たこと。

△望みたい事は。団体行動に慣れること。得て来ようとする目的をはつきり沢山持つ事。

その他。



面正の場劇本日るたゝ々堂

やわらかい春の陽は希望に燃える私たち新入生を包み、土手に芽をふく若草は新しい季節を讃えているよう——。思へば——。高校進学という大きな理想を抱いてひたすらに辛い進してきた私達、入試の難関を見事、征服した時のよろこび、それらが今さらのように思い起される。三月二十二日、私たちはこの日を忘れることは出来ないだろう。自信はあるものの何となく落ち着かぬ心を無理にすすめながらいつもより遅く思われる若高への道を急ぐ。すらりと並べられた合格者の名前の中に自分の名前を探す人々の食入るように真剣な眼ざし！不安と焦燥にかられた私の目にありありと映つた〇〇〇〇の四字、瞬間、安心ともよろこびともつかぬものが背筋をかすめ、続いて潮のような感動が全身をかけめぐる。今さらのように見回した周囲の風光はさんぜんと輝き全てが自分の合格を祝福しているように思はれる。懐しい人のよろこぶ顔が目前に浮ぶ。入学式場に漂う厳かな空気。校長先生の激励の言葉。私たちの心は緒を放たれた小鳥のように躍り、新しい希望が泉のように溢れる。ひざの上の帽子をそろと見直す。たしかに二本筋だ。その真中に若高の紋が銀色に輝やいている。もう私は高校生なのだ。中学生ではないのだ自分の行くべき道、進むべき道に向つて全精神を打ち込もう。溢るる情熱と理想のもとにただひたすらに前進する私たちの行手をさえぎるものは何もないのだ。決然と上げた瞳、若さを力とする新入生の瞳は生々としたものを感じさせる。講和の発効、再軍備にまつわる諸問題、目を大きく開いてそれらを見つめる時、私たちはその責務の大きさに驚かすにはいられない。次の日本を背負うもの、それは私たち青少年であり、よりよき若高を築き上げるために下からも盛り上る力、それは私たち新入生の力なのだ。

入学に際して

情熱と理想を掲げて

一年保坂利三

本年度 修學旅行記

東京 西関

今年は例年よりぐつと早い修学旅行ではあつたが様なき奈良、京都そして理想の東京見学も一興あつて新三年生の学生生活の一境地を拓いた気持である。また毎年の最大の行事として旅行は大きな意義を持つものであるが今後ともこの道のため貢献したい意図のもとにここに数人の紀行文を紹介しよう。

乞食もいる裏通り

東京　浜崎浩二

極端な古いものから極端な新しいものまでが当り前というように平然と並び建ち、そして大通りの両側に並んだ高層建築の間を通して賑やかな音響を放散しているこの大都市は最早僕のような餓い感覚ではとうていこ三日で理解出来るものではなかつた。北海道から九州の果てまで引き延ばしたように長い地形を見えた日本列島がもつ独自の気候と一通りや二通りではないと思はれる人種、こういつた多種多様な地質気候と人種の錯雑した国の首都としての東京であつてみれば玩具箱を引つくり返したような複雑さがあつても今更目を丸くして驚くに当るまいが、ただそれから醸し出される東京の雰囲気は一寸独特のものがあつたようだ。特に浅草、新宿あたりはその一つに挙げられよう。例へば些細な例として新宿を挙げてみよう。三越支店を中心に著名な繁華街や盛り場、果てはパチンコ屋までが見事にその巨体を並べ競つている。その様は山手銀座といわれるだけの観を呈していた。そうかと思えば三越裏通りを通つてみると表通りの賑やかさに比べると実にひつそりとしている。しかもその表通りと裏通りの距離はほんの目と鼻の先。その上面白い事にそれぞれの三越の裏口あたりに乞食が二人三人と表通りの雑踏を他所に夢想境に入つていた。置して表通り裏通りという所。いかにも東京らしい。この道をへだてであるのが有名な新宿御苑だ。表通りの賑やかさをこの裏通りで絶縁したかのようにこの御苑内は別世界だ。何処まで歩いてもきりがないと思われる位広々とした芝生と樹木が綿々として続いて居り、所々に洋式庭園と日本的林泉がある。いかにも日本人の好む趣向だ。派出な原色に彩られたネオンに輝く東京だけではなく昔を忘れぬ古雅な東京でもあるうらやましかつた。

廃墟は緑に崩えていた

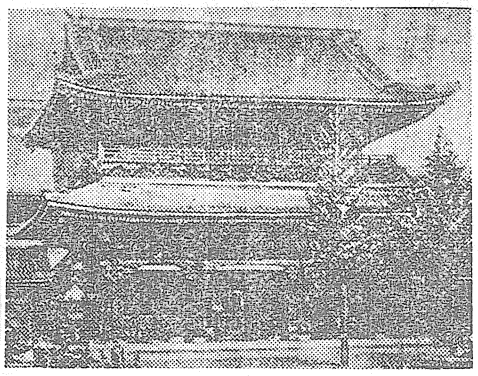
大阪　花田文夫

約十日程も費して修学旅行の計画と準備とを終えたころには、もう机上の旅行に食傷したせいか、すでに出発前から少々倦怠と疲労とを覚えていた。だから何かこの旅行に、偶然がもたらしてくれる恩恵を待ち望む気持になつていたのである。

奈良見学を終えて汽車の時間までにはまだ余裕があるので、僕等は大阪の街を見学することにしたところが生憎瓜生先生の写真機が故障したために先生のお伴をしなければならなくなつた。ある写真屋で教えてくれた修理店を求めて横町へ足を入れる。そこは廃墟になつた寺々の跡で壊れた瓦や土台石などが無数に散乱したまま月日を経ていた。貴重な二時間をこんな廃墟の寺町などで費す原因をなしたその写真機を呪いつつ瓜生先生の切実なる気持に同情を感じながらも、故障の起らねばならなかつたその写真機の運命を憎んだ。教えられた修理店は簡単には見付からなかつた。

ふとその時僕は周囲の廃墟の中に砕け、色褪せて重なり合つた瓦の間からにじむように若草の緑がのぞいているのを発見した。それは鮮やかな緑だつた。僕はその瞬間、故障の起つた写真機を呪う気持も、旅の疲れも忘れた。そして無限に遠い旅情に誘われた。

やがて、目的を果して再び賑やかな大阪の表通りに出た時には、人類の文明などというものは時には廃墟になる必要があるものだと考えながら故障の起つた瓜生先生の写真機を祝福していた。



門山寺願本東るわれといー京都

〝小督の局〟を回想しつつ

京都　小川澄彦

東山三十六峰をはじめ群山秀峰に囲繞せられる平安京、秀麗なる山は四辺を飾り清冽なる水は市街を流れ、名社仏閣、名勝旧蹟を至るところに有する古の京にわれわれは第一歩を記す。

東本願寺の楼門にそす度胆を抜かれ、新高雄の渓美を閨下に見、遠く京洛の西南部を一望に収める清水寺八坂の塔、音羽の滝の繰きを後に円山公園に向う。夜桜の美観を胸中に描き真昼間の祇園に夜の京都情緒を想像しながら、華麗な楼閣殿堂の平安神宮、加茂川の清流れにバスガールの顔をクローズアツプしつつ金閣寺に想を馳せながら嵐山に向う。

春雨にけむる小倉山、渡月橋の佳観に溜息をつきつつ悲恋の美女横笛の伝説を想い起すのであつた。

閑寂な嵯峨の奥にしずかに眠る小督局の琴の音を胸裏に聞き、霞に包まれる嵐山、大堰川の清流は山脚を繞つて頗る絶佳、しかして老樹うつそうたる愛宕山を後は、紫内嬪の唄う〝祇園恋しや、だらりの帯よ〟の名調子とともに車は御所へと向う。

京都御苑の中央やや西北に位するところ筋塀を以て四方を囲い、静寂な中に砂利の繰きの音厳さに感激しつつしばしの間遥拝瀬湯の俗界から離れた感じであつた。

冽な日夜、管絃の繰きに明け暮れし往時の御殿を後に舞妓の姿の見られなかつたことも一生の不覚に思いながら、かつての平安佳人の観に溜息をつきつつ悲恋の美女横

廃墟は緑に崩えていた

教官　花田文夫

（前掲）

小督の局〟を回想しつつ

京都　小川澄彦

（前掲）

生徒会の言葉を借く

A　ただ今から第一回新聞記者座談会を開くのだが行詰つた感のある現在の生徒会についてどうだろう。

B　この間開かれた総務委員会で二年H君は『新しく任命された総務は一名なのに、生徒会規約によると二名となつているが規約違反ではないか』と発言し討議の結果、結局改正することになつたが、この点について学校側は『これは事務上の手落ちであつた』といつている。

E　現在の規約は男女によつて構成された学級を基として定めたものであるから、新しい学級の編成とはそこに何らかの差があるはずだ。だからその問題に関する事項は当然改正をされるべきではないか。

A　現在生徒会が学校側から大分圧迫されているという声をよく聞くが、職員会に対する生徒会の力は相当弱いのではないか。

C　弱いというのは生徒の活躍が積極的でないところに原因がある

のではないだろうか。生徒は委員に引きずられているように思う。

E　皆の関心が薄いから生徒会の活躍が鈍くなるのだろう。

A　やはり、新聞部にも責任があると思う。報道によつて皆を刺激することも必要だから。例えば委員会の議決の模様とか、学校側の干渉とかを批判とともにうつたえたいと思う。

B　委員会の決議経過を総務が皆に伝えなかつたことにも責任があると思う。

F　委員会に職員が出席しなかつたことも原因と思うが。

C　職員会で議決されたことを生徒会に正式に報告しない。特別のことは例外として一般のことは一応簡単に承認を求めてほしい。

E　学校側は何にもいわずに決めてしまう。行事表にしても一応皆に計るべきだ。遠足とか何とかは知らんのじやないかな。

D　委員長、総務は全部知つてるのが当然だと思う。

E　委員会、職員会の決定事項はどしどし皆に計つてくれることを希望する。職員会はその内容は特別なものを除き、秘密にすべきではないと思う。皆もこのようなことに関心を持たなければ……。

A　ではこの位で。

生徒の協力が肝要

欲しい学校当局との緊密化

A　それが事実ならば許されないことだ。そんなことを全生徒が知らずに済したということは傍聴者がいなかつたことが原因の一つではなかろうか。

B　傍聴しようにも、大体委員会議には傍聴席がないじやないか。ぜひ設けて利用して欲しい。

F　委員長が規約の不明なところを拡げて見ていたり、職員室に取りに行つたりする光景をよく見かけるが、委員長でさえ規約を充分知らんのじやないかな。

D　委員長、総務は全部知つてるのが当然だと思う。

E　委員会、職員会の決定事項はどしどし皆に計つてくれることを希望する。職員会はその内容は特別なものを除き、秘密にすべきではないと思う。皆もこのようなことに関心を持たなければ……。

A　ではこの位で。

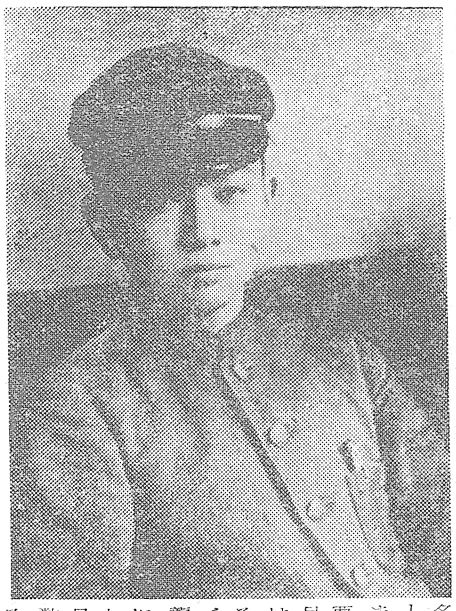
生若高自然泰の

東京　教官　森元哲郎

一週間の長途の修学旅行、凡そそれには徒然なる語は当はまらないと思う予定から予定へのコースと五尺の身体の休まるのを見出せないのである。そうした中で以下私の東京での雑感を御粗末ながら一筆啓上する。

一体江戸つ子の平均寿命はいくら位だろうか？惜しいかなわが国の社会科の知識は零というところである。北九州のわれわれが高下駄を履き中川通りを悠然と濶歩する趣とは大分違う。お話になるまい。都鄙人を待たず。ドアーが無愛想に閉まる。不図ホームより車内を見ればわが校の生徒二、三人。物に勤ぜぬ態度実に徹底して念が入り過ぎている。しかし次の瞬間、開くに開かすその周章狼狽の顔笑うに笑われず。東京といえば、実に喧々囂々という言葉に尽きる。あちらを見てもこちらを見ても『ニユールツク』笠置シズ子じやないが何が何だかさつぱり解らない。かかる周囲の中にわが国の政治、経済、交通、文化の中心、日本の縮図東京を短時日で知るなんて、そんな無茶な話はあるまい。

かの有名なフランシス・ベーコンはかくの如くいつている『ある本は味を見るだけにすべきであり、またある本は呑みにすべきであり、実にある少数の本はかみこなして消化すべきである』と。



大規模な小鳥飼いも
少い予算に悩み
ガリ版同人雑誌も発行

私の学生時代 (1)

"また逢う日まで"という映画を観て過ぎ去ったボク等の『早春時代』の暗さを今更のようにおもい出すことがあるがそれは現代に生きる自由を許された者のみが呟き得る実感であつたかも知れない。ボク等はボク等なりにその暗いルツボの中に青春を創造して行つたはずだつた。

ボク等のささやかな青春の萌芽は小倉中学校の校庭にあつた樹の布と脚絆を抱いて機会を見ては日の家に集まつた、薔薇垣の薄酒な家だつた、そこで高等学校の寮歌逍遙歌を蛮声をはりあげて唱いかつ乱舞した、Kの失恋に涙をボロボロ流して一緒に泣いたむさになつて議論もした、議論とぐりつけたあげく柴川へ投げこんでしまつた、今にして思えばとんだ月下の乱闘を演じたものだ。この事件はこれで終末を遂げたからよかつたもののもし密告でもされていたらボク等は早速留置されて学校も卒業できなかつたかも知れない、考えて見ればこのグループの中からもう二人の犠牲者を出した、Mは長崎の原子爆弾のためにSは軍隊を志願してルンゲのために、だが今となつてはすべてがなつかしいボクの早春時代の思い出である。

本校教官　鶴島正男

いえばこんなエピソードもあつたある夜の会合だつた、ガマのニツクネームを頂戴しているシユーベルトのセレナーデの得意な奴だつたが、これが突然天皇制反対をとなえ始めた、もちろんそこはそれ小学校一年生の時からミリタリズムの教育をたたきこまれたボク等のことだ、そんな事を正しく批初するだけの力を持ちあわせるはずがない、皆でよつてたかつて反対し遂に泣かしてしまつたことがある、ところがこれだけですめばよかつたのだがその夜たまたま誘われて出席していた某が後日これを憲兵隊へ密告するという情報が入つたからたまらないボク等は彼を勝山公園に呼び出してさんざんな名をかりてつくつたクループ『ユーカリ』に始まる同人六名、写りの悪いガリ刷りの雑誌第一号を手にとつた時の歓びは今だに忘れられない、そのころから戦争も激しくなつて北九州の町も空襲されボク等はバラバラに名軍需工場へ動員された。授業といえばたまの日曜日に出校して教練と数学があるだけだつた、それでもボク等は防空頭巾と脚絆を抱いて機会を見ては出校して出席していた某が後日これを憲兵隊へ密告するという情報が入つたからたまらないボク等は彼を勝山公園に呼び出してさんざんな

躍進する文化部

……演劇部……

文化祭予餞会と演劇部の活動は範囲が広い。一人一人の才能を伸ばすことに重点をおいている。発表するまでに相当の月日を要するので量は望めないが質で推すよう計画している。昨年の予餞会で発表したような傾向のものを充分観賞出来る観衆を欲している一つの劇を発表する費用も多額なので現在の予算で多くは計画出来ない。

なおSKの放送劇応募を機に放送劇の方面も研究し、校内マイクを利用したいと計画している。

……化学班……

今年は部員総数三十五名で、見学（製鉄・安川電機）や実験を主としていた。昨年度の企画を一変し顧問石橋教官の指導の下に本年度は、研究テーマを各自で持ち寄り実験を主にする教室での研究に重点を置いている。従つてその研究会を二週間毎に土曜日の放課後行いその実績を上げるよう張切つている。

……無線班……

昨年は顧問川上教官を中心に、全校校内設備を完成し学校放送機具の管理の重任にあたつてきた今年はテレビジョン、テープ録音機作製を計画している。これらは学校放送の充実のために期待される。

……生物部……

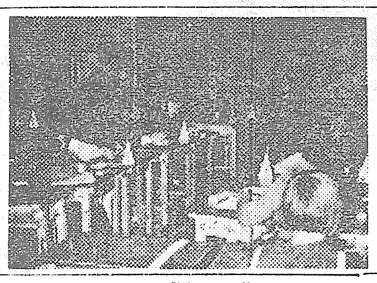
顧問赤司教官を中心に昨年度は、鹿児島まで採集旅行に、また小鳥（十姉妹・目白）等の飼育を始めたが盗難にあつてその結論が出なかつたのが惜しまれる。

今年は小鳥の飼育を大々的にやつてそれを売る計画もしている。

……経済調査班……

また市内の動物・植物採集の計画もあり、部員一同今年は大いにやると張切つている。

昨年商業科の中心として発足して北九州商業経済緊急部会に加入し、部誌『商苑』をも発行して大いに商業科の中心となつて活躍したが、今年も顧問高比良教官と共に経済関係等を研究し、更に商苑の内容を充実し、対外文化向上をはかると共に商業科の中心機関として大いに発展しようと張切つている



……班理地……

昨年は生物班と合同で鹿児島まで旅行して、大いに得る所があつたので今年も見学に重点をおいている。今の所計画しているのは阿蘇・平尾台・背振・関門トンネル等である。また瓜生教官と共に今度は、北九州各地形の製作を計画している。

……部藝文……

昨年は、文芸雑誌つぶて』を発行した講師玉井政雄氏をまねいて、大いに文学愛好者の好評を得たが、今年は『つぶて』の内容を充実し、また講師をあらゆる方面からまねいて、皆の期待にそうように文芸部は計画している。

朝日コンクールに五位
マンネリズムの打破を…評

昨年十二月十日より審査中であつた全国高校新聞連盟主催、朝日新聞社後援の全九州高校新聞コンクールに提出中の本校『礫陵新聞』十五・十六号が五位に決定の旨正式に通告があつた。今回は一般に総合点が下つているのが目立つがこれは高校新聞が低下しているのを示すのではなく、審査の水準が高められ、審査員の考え方がぐつと変つて来たためである。即ち昨年までは依然危つかしい歩みの高校新聞を育てて行く事に主眼が置かれていたが、今年はそれに厳しい批判を加える事に重点を置いたのである。今年の参考のために注意すべき点を聞くと

一、論説は説得力を充分に持たせてヒステリツクな叫びにならぬ事

一、紙面のバランスと安定性

一、見出しは主観を混ぜぬ事。

等を指摘している。紙面のバランスでは玉龍新聞が、見出しの美しさでは本校が審査側より賞讃された。なお一位には、いつも佇ら取材の新鮮さで人吉高校に決定した。

進学就職 共に狭き門
私立志望が圧倒的

今年も進学就職の指導が、特に進学については相当真剣に始められている。進学指導は昨年も相当深く行われたのであるが、結果において成功したとは決していえない。これはいかに狭き門であるかを実証しており、今年は昨年以上の真剣さが要望されている。

就職についてもこれ以上のことがいえるのではあるまいか。各自は実力を身につけ各々個性を伸ばしまた早くそれを見出すことが有利だろう。それについて特にここでは今年の方針等について学校側から聞き出したものを記載する。

昭和二十六年度の卒業生は総数三百九十八名で、その内進学志望者数は百六十五名で、全体の四十二%、就職志望者数は百六十九名で四十二%、その他（家事、洋裁等）は六十四名で五%という数字が出ている。次に進学状況を挙げれば、官公立大学は男子三十四名女子六名、計四十名である。私立大学は男子六十名、女子十七名、七十七名である。全体の合格成績は七十一%である。主なものを挙げれば、官公立は九大（十四名）九州外大（四名）長崎大学（二名）九工大（二名）で、私立は早大（四名）日大（八名）中央大経済学部（四名）明大（四名）八幡大（五名）などが挙げられる。殊に九大、早大などは志望者の半数にも足らず、如何に今年が狭き門であつたかを物語つている。就職状況は進学成績よりも尚く、一六九名に対しわずか九十三名という不況ぶりであつた。なおこれについて進学就職担当の河野教官は次のように語つていられる。

学年当初以来、進学就職指導に重点をおいて明け暮れしたのであつたが期待したほどの、成果を上げ得なかつたのは残念であつた。進学についていえばもう十名の合格者を出せばまず成功というところだつた。合否の第一関門が進適である現状では最低点は確保しなければならない。次に自分の適性や学力を最も知悉されているホームルーム主任の指導に従つて学校選定を誤らぬことが肝要である。次に最上のコンデイシヨンで受験できるよう、周到な準備計画を立てて受験準備に邁進すべきである就職も進学に劣らず競争激甚であるが、この方は人物本位で合否が決定されることが多いから不断の修養研さんが望ましい。何れにしても『ローマは一日にして成らず』ということを銘記し今後の努力を要望する。

生徒諸君の奮起を望む

日本アルプスの中に焼岳という火山がある。猛烈な活火山で大正初期の爆発によつて梓川を堰き止めて上高地に大正池をつくつた。今から二十数年前に、この山に登つたことがある。登山の道すがら一寸ピツケルで穴を掘ると、どこからでも水蒸気が噴出する。山体全部が爆裂の可能性に満ち満た活気のある山である。この山は、それほど大きな山でもないし、高さも二千五百米足らずだからアルプスでは高い方ではない。しかし上高地から望んだ姿はがつちりとひきしまつており、登山者にも親しまれ杖をひく人があとを絶たない

× × ×

千七百の学徒を有するわが学園は県下でも有数の所謂大きな学校である。しかしその内容はどうであろうか。校舎が大きいとか運動場が広いとか、生徒数や職員数が多いというようなことは自慢になることでもないし、ほこりでもない。小さくとも焼岳のように内容全部が充実していてこそ、はじめて立派な学園といえよう。先生も生徒も父兄も厳正な自己批判をなし、わが学園をして、どこを突いて見ても赤い血潮のほとばしる活気に満ちた学園たらしめてもらいたい幸に今年は先生も父兄も生徒の学力充実のために凡ゆる努力をなすという態勢ができあがつた。残されたのは生徒諸君の奮起あるのみと思う。諸君の自重自愛を切望して止まない。（瓜生二成）

投稿歓迎します。匿名も可、原稿は返却致しません。

SK、放送劇コンクール行わる
欲しかつた舞台度胸……鶴島教官談

北九州高等学校演劇連盟主催、SK放送劇団後援の北九州五市、九校の高等学校演劇部による、放送劇コンクールは小倉放送局スタジオで去る五月三日行われた。審査はSK放送劇団員等数名によつて原作（脚本）、音響擬音効果、俳優の役柄のこなし方などの方法で行われ同日一位、八幡高校二位戸畑中央高校三位、小倉高校を選定した。若松高校は阿岐四郎原作"嬰は流れている"で初参加し期待されたが惜しくも選外に落ちた放送時間は三十分で入賞した一、二位の学校はSKのマイクを通じてローカル放送を行う。なお本校でも八日校内放送によつて十余日の練習の成果を全校生徒に披露したが今回のこの新企画は生徒会クラブ活動に一段の発展をもたらしたものと思はれる。

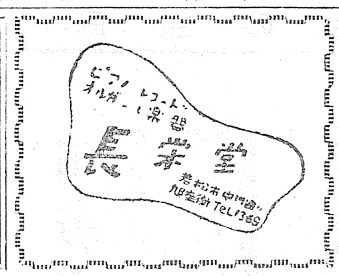
次に前記コンクールの審査に当つたSK放送劇団の影山氏は今回または将来の高校の放送劇について次のように語つている。

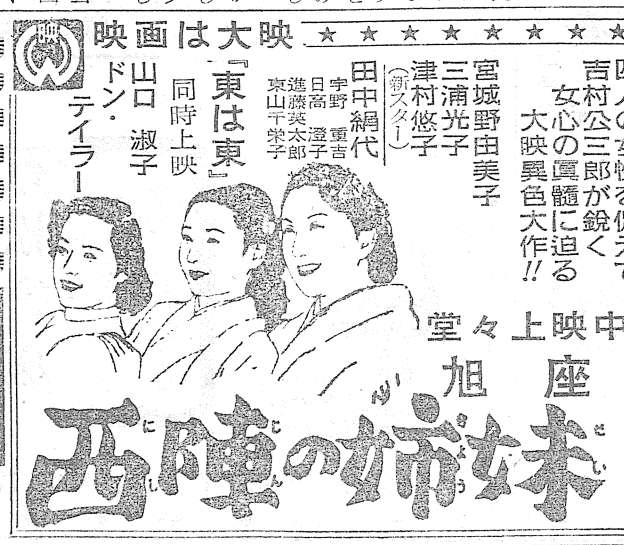
SKとしては最初の試みで審査の方法にもいろいろ改善すべき点があろうが今後はもつと広範囲の地域の学校にわたつて定期的に春秋各一回行いたい。今回でももちろん審査員は演技者の姿の見えない別室で審査をしたわけだが、まだまだ放送劇としての観念が一般に低いようである。脚本者は高校の先生に限定したが少数の演技者と共に秀れているのも少なからず見られた。

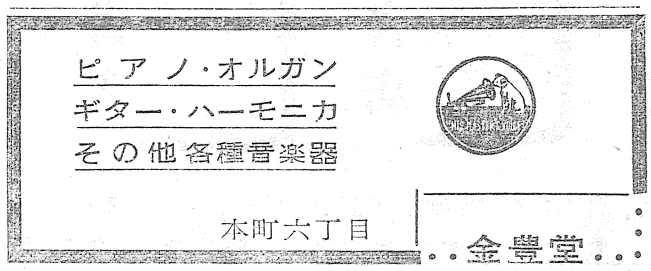
また本校演劇部顧問鶴島教官は何しろ初めての場所で表ざついたが当日即製の擬音連絡（これはSKの方で調節をやつたので）うまく行かなかつたことが最大の失敗の原因で諸君の期待に副い得なかつたことを残念に思う。しかし校外での発表は始めてだつた、放送劇という特殊な手段でやつたのもわれわれにとつては大いに勉強になつたと思つている。今秋、来年は大いに頑張ります、と語つている。

消息欄

△日野教官　厳父坂太郎氏。四月八日死去さる。
△上野教官　小倉高校へ転任。
△藤平教官、小田教官　戸畑中央高校より転任。
△山地教官　母校若松高校へ新任。







本校同窓会の近況

"社會性"のある同窓會に"

新会長談

旧若松中学、若松高等女学校発足以来今日まで、すでに本校では一万名にのぼる同窓生を世に送っているが、それらの同窓生はどのように活躍しているか、同窓会の組織はいかに運営されているか。これらは同窓生相互にとっても、本校生の今後の発展にも大きな関心事であるに違いない。本紙ではこの立場に立って、本号から『大学から、職場から』という特別の欄を設け、それぞれの現況報告をのせてもらうことにした。それに先立つて、現在の同窓会の動きを簡単に素描して参考に供することにする。

昨年の十一月総会において若中第二回卒業生山本平八郎氏が会長に、第六回卒業生山本竹襲、若松高女第三回卒業生吉田アイ両氏が副会長にそれぞれ就任され、とかく停滞ぎみであった同窓会活動に一陣の刺風をふきこむことになった。新会長の同窓会運営のスローガンは、『同窓会に社会性をもたせる』ということで、これが同窓会組織にも大きく反映して、従来からあった常任幹事会の外に、新たに職場、学校にそれぞれ分会をもうけ、地域的統合をはかったことは注目されてよい。機関として各職域分会、学校分会に、分会会議、幹事会を設け同窓生相互の親睦と協力、同窓会への連絡の円滑化がはかられている。職場分会の結成状況は次のとおりであるが、学校分会の方は九大生が中心となり、同学四年在学中の今道博氏が幹事役となって準備中で、関西、関東、九州の三支を設ける計画がすすめられている。

職場名　責任者

△洞の海運船　竹井氏
△第三中学校　深堀氏
△電産（若戸）　水野氏
△日立製作所　花田氏
△若松病院　権田氏
△日華油脂　遠藤氏
△明治鉱業　益本氏
△東海鉱業　徳永氏
△日本板硝　竹本氏
△今村製作所　橋根氏
△若松郵便局　野口氏
△若松市役所　河野氏
△第一化学　湯川氏
△城水鉄工所　城水氏
△服部製作所　丸橋氏

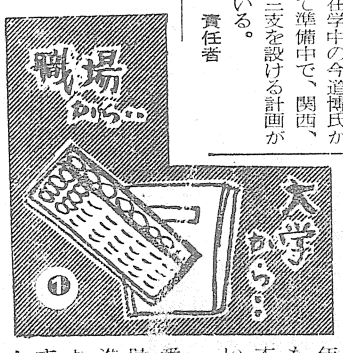
これらの外まだ結成をみていない分会は早急に結成されることを同会では希望しているが、今年度第一回総会は六月中に開催予定で、『開催に当っては在校生諸氏に絶大なる御協力をお願いしたい』とは山本会長の弁である。

今一瞬の勉強が大切

九大　大沢昂君

"大学とは勉強する所である"

もし諸君が『大学に入つたら一つ大いに遊んでやろう』などと甘い期待を持つているとしたら、それは大学生活を一歩踏み出した途端にコツパミジンに吹飛んでしまうに違いない。大学は決して勉強を強制しない。しかし高校のように君達を甘やかしはしない。勉強をしなければならぬような無言の威圧はチヤーンと準備している。ところがただ勝利の夢に酔う馬鹿者はこの恐るべき落穴（左様、かかる人間にとつては正に落穴である）に気附かない。ハツと眼が覚めた時はもう手遅れである。入学後も営々と勉強を続けた人との間には既に無限の差が生じて把旧する術もない。……それと反対に"真の勉強家"にとつては大学は正にパラダイスである。もし私が人に"大学の試験"の感想を聞かれたら『どんな人でも勉強すればできる。どんな秀才でも自惚れたら終りだ』と答えたい。だから高校時代の模擬考査などで一席をとつてつまらぬ優越感にひたり得々としている人などは正にナンセンスである。学問とはそんな底の浅いものではない。某先輩の『やつと学問の門を見付けたと思つた時は既に卒業だつた』という偽らざる感想の中に諸君はキツト真実の学問の姿を感じとるに違いないと思う。しかし何はともあり志望校にパスすることが先決問題である。



だから現在の諸君に最も必要なことは一語でも多く単語を覚えることだ。要するに諸君の運命を決するのは今一瞬間の勉強である。

A君への便りから

富士銀行　吉竹順一君

A君、もう君も磯陵三年生だね。来年の三月には学校生活も十二ケ年、年令も満十八才。何といつても一生で一番大切な時だね。進学するか、就職するか、このどちらを選ぶかの悩みは毎年何万かの高校生が直面する切実な問題だ。そしてその選択如何がその人の人生に及ぼす影響は計り知れないのである。というのは僕自身がよくよく痛感しているからだ。A君、君も知つてるように僕も君等の時には同じようなジレンマに陥つて悩んだ事も一再ならずあつた。そして結局は現在銀行員としての生活に身を置いている訳だがね。だが僕は今の職業に関しては大きな誇りを持つているよ。まあ現在の僕は、君達の頃に定めた僕の方針が間違いではなかつたという事を一応いい得る事を非常に嬉しいと思つているんだ。

そこでこれからもし君が就職を選んだ場合に、その門を辛うじてではあるが無事通過し、一年の実務経験を通じて僕の感じた事を二寸書いて見よう。

先ず第一に就職に際しては、担任先生があつせん係の先生にその意志を明らかにして置きその決心を動かさない。先生が知つて居られれば、求人申込があつた時等必ず気を付けてもらえる。求人申込については大会社銀行等は必ず申込時期が早く、遅くなるにつれて条件が悪くなるのを忘れぬよう更に最も大切な事は点取虫になる事、求人先の書類選考にはねられてはてんで話にならないからね。

それに通ればあとは先方の学力試験と面接だが、学力試験は通常やさしい問題だから落着いてやれば割にむつかしい事はない。面接は愈々運次第、試験委員の感次第でこれは学校の試験と違うんだからせいぜい先方に好感を持たれるよう常識を養つておくより手はないね以上くどくどと書いたがそれが済めばA君、君もどうやら一人前のサラリーマンとして浮世の波を泳ぐようになる訳だ。

そして一年もたては、この磯陵新聞に大きな顔して後輩に教える事が出来るというものさ。

では君の幸運を祈つて筆を置く。

任意は就職あつせん

豊かな知性"

本校教官　今泉義則

カツトは
メロスの
アフロデイテ

"汝自らを知れ、然らば真の知識に至る道開かれん"とは、ソクラテスの言葉である。アプレゲールということも、いい古されてから既に七年、われわれも、静かに自己を見つめ、自己を知り、新しき希望への道を開きたいものである。

終戦後、世界の文化は、とうとうとして流れ込み、明治初年のそれに対して第二波の流入期を迎えた。古き殻を脱して、新しき世界の一員たるべく生まれ変ろうとする決意も見られた。封建的なものを否定し人間性を高揚して来たのも、われわれ自らを洗練し、自らを向上させる第一歩であつた。われわれの築く楼閣は、確固とした地盤の上に築かねばならない。砂上の楼閣であつたり、空中の楼閣に終るようなことがあつてはならない。

われわれが、自らを洗練し、自らを高める上からも、世界の文化を摂取することは、重要なことである。しかし、単なる彼の模倣に終始してはならない。模倣は、創造への契機となるかも知れないけれども、模倣のみでは文化の進展を期待することはできない。文化は花園に咲いた花を自己の庭園に移植するようなことではなく、自ら耕し、自ら培い育てることによつて向上してゆくものである。額に汗し、自ら耕作する者によつてこそ香り高い花ともなり、実も結ばれるであろう。

しからば、育ちゆく文化の源泉は何処に求められるか。それは国民に内在する"豊かな知性"である。これこそ文化を発展向上させる原動力ではないか。試みに思え人類の文化は人類の知性の反映であり、知性の欠如は文化の暗黒をもたらし、知性の向上は文化の進展を促したことを。

青年よ！"豊かな知性"をもつ"理性"を把握した。むしろ"知性"に目覚めたという方が公当かも知れない。知性より把握し得たものは、近代社会の基となつたヒユーマニテイの確立である。近代文化は"知性"と"ヒユーマニテイ"とによつて織りなされた文化である。

われわれの指向する文化の建設も、広く世界的視野に立ち、近代文化を摂取して"豊かな知性"を養い、われわれの文化を培い、ひいては世界文化の進展に貢献することに心がけねばならない。

重ねていう。学問への情熱に燃え、研さんをつづけてゆくところに"豊かな知性"は育てられてゆく。そこに文化の芽は輝くであろう。

近代社会の成立と共に、人類は青年たれ。えい知に輝く青年の眸の中に、文化建設の希望に燃える日本の姿を見ることができる。何故ならば、青年が明日の社会の形成者だからである。

『ローマは一日にして成らず』というが"豊かな知性"も一朝一夕にして育成されるものではない。研究にいそしむ学園生活が大きく左右する。学園こそは、学問への情熱の火花を散らす殿堂であり、研さんの道場である。"豊かな知性"は、学問への情熱を燃やす日々の学園生活の中に育成せられ、日々の研さんを続けゆく努力の中に培われて来るものである。"豊かな知性"こそ、地上を照らす光である。

読書欄

書評

永野教官

千羽鶴

川端康成著

主人公の青年と二人の令嬢とそれに未亡人二人とをめぐつて起る人生の種々相が描かれているが恋愛というよりは、もつと清純な心の動きが、その繊細な筆致とすぐれた表現力によつて、読者をして遂には、人間苦悩の極致にまで引きずりこむ。

現代文学の最高峰としてこの一を得ることの出来たのは日本文学にとつて決して小さい意義ではあるまい。

本年度芸術院賞に輝く作品として今、読書界注目の焦点にある。

引力

李広田著

戦時中書かれ戦後上海の"文芸復興"に連載された作品。抵抗を描いた文学は数多いが日本の統治に対する中国民衆、特に知識階級の抵抗を描いたものとして若舎の『四世同舎』とは違つた意味で注目されてよい。物語は一女主人公の心理的な動きを追つて展開され清冽な抒情の流れがひたひたと読者の胸をうつ。（岡崎俊夫訳）

編集後記

新学期と同時に独立の春を向えわれわれもほぞを決めるころですが、今紙の主なる記事の目的は近ごろぐつと変革して来た社会状勢にわれわれの真剣なる判断と独立後の心構えが必要であるということを強調していることであります。

△　△　△

主なるものとしては一面の校長先生の独立によせるメツセージ、生徒会の活動をうながすために新設した"生徒委員会の内面"二面の新聞記者座談会、三面の文化部活動状況、変つたものとしては四面の"大学から、職場から"三面の"私の学生時代"などであります

△　△　△

特に一面の"生徒委員会の内面四面の"大学から、職場から"三面の"私の学生時代"は毎号連載してまいりますので新聞部へ、その感想なりまたは痛烈なる御批判文をお寄せ下さるようお願いいたします。

『靴磨き』以上の作品

ヨーロッパの何処かで

映画

『児童の愛』は心ある男女性を感動せしめずにはおかない。憐憫の情に国境はなく、相互愛に国境はない"とこの映画によせてフランス共和国大統領オウリオル氏はいつている。

一九四五年、全世界を恐怖のどん底に叩き込んだ中欧の戦火も漸く治り、完全に破壊された街々には不幸にも親を失い住居を失つた子供達があふれていた。日増しに増える彼らの群は飢えた体をひきずつては食を求めてさまよい、一切のパン、一滴の水にも全力を以つて争つた。飢えた狼と化した子供達は生きるためには手段を選ぶべくもなかつた。民家の畠をあらし豚を殺し、トラツクをおそつてはわずかに飢えをいやしていた。彼らは生きなければならないのである。戦争を引きおこしたのは大人達だ子供をこのようにしたのはだれの罪だ！　少年のこころから欧州各地を点々として永遠の報道者と自ら以つて任じているゲーザ。ラドヴアニーはこれに対するヒユーマニテイの決然たる解答を与えている。ある新聞はこういつている。『この映画は"靴みがき"以上の作品であり正に映画以上の教訓である』と。

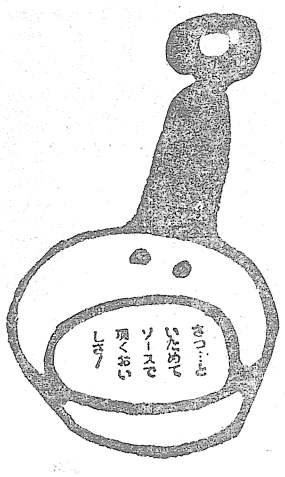
この映画は最後に村人の浮浪児狩の邪魔にたおれた少年の笑顔のように休戦ラツパをうかせて一応この映画は終りにしているが早くも次の戦争の硝煙のにおいをかぐ思いでいる今日このごろの私達にとつて、この問題は未だ将来に残された問題でもある。（K）

学生の宝庫

文爺書店
清新な店!!
辞書類なら
何でも
本町五丁目TEL一九一七番

田坂書店
良こは深く蔵して虚きが如し
本町五丁目
TEL九四一番

石松書店
凡そ書籍に
関する御相談は……
当店へ
本町四丁目　TEL四一五番



六月号発賣★螢雪時代、科学の実験、ポピユラサイエンス

部告

今回生徒予算委員会、職員予算会の両会議では新聞部予算を削減する代りに全校生徒より一部十円を徴集することを承認、決定致しましたので了承願います。

昭和廿七年五月九日

若松高校磯陵新聞部